

作成日2026年 8月 14日
(最終更新日2026年 8月 26日)

受付番号： I2026-229

課題名： てんかん患者における発作誘発因子と患者背景の特徴

1. 研究の対象

2022年4月～2025年3月に当院に痙攣を主訴に救急搬送された方。

2. 研究期間

研究実施許可日～2026年9月10日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

該当なし

4. 研究目的

本研究では、当院を受診したてんかん患者さんの診療記録を用いて、発作が起こった際に認められた誘発因子の特徴を調べます。さらに、年齢、性別、既往歴、服薬状況などの患者さんの背景と、発作誘発因子との関係を調べることで、てんかん発作の誘発因子にどのような傾向がみられるかを明らかにすることを目的とします。

5. 研究方法

当院を受診したてんかん患者さんを対象として、過去の診療記録（電子カルテ）から、年齢、性別、受診時の状況、既往歴、服薬状況、発作の誘発因子などの情報を収集します。

収集した情報を統計的に解析し、発作の誘発因子がどのような患者さんに多くみられるか、また、年齢や性別、既往歴、服薬状況などの患者さんの背景によって、発作誘発因子にどのような傾向がみられるかを調べます。

本研究では、研究のために新たに検査や治療を行うことはありません。また、診療のために過去に記録された情報のみを使用します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

・ 年齢、性別、社会区分、既往歴、来院日時、発症現場、誘発因子等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われらないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東京科学大学病院 基盤・救急救命センター 助教 安達朋宏

連絡先：03-3813-6111

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

当院の研究責任者：東京科学大学病院 基盤・救急救命センター 助教 安達朋宏

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）